



九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)Annual Symposium 2012 及び International Workshop 2012 の開催について

概要

文部科学省により世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に採択された九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)は、発足から一年が経過しました。この機会に、世界で活躍する第一線の研究者が集い、今年度の研究活動報告を行うと共に、低炭素社会の実現に向けた今後の取り組みについて分野の壁を越えた活発な討論を行います。

背景

「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」は、高いレベルの研究者を中核とした世界トップレベルの研究拠点を形成するため、文部科学省が2007年度に開始した事業です。九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)は2010年12月にWPIプログラムの研究拠点として発足しました。

この度、発足から一年を迎えたことを機に、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)の主催により、「I²CNER Annual Symposium 2012 及び I²CNER International Symposium 2012」を九州大学伊都キャンパスにおいて開催します。

内容

1. I²CNER Annual Symposium 2012

日時：2012年1月31日(火) 9:00~16:40 ※入場無料
会場：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館 稲盛ホール
対象：研究者・学生・一般
定員：250名(先着)
言語：英語

【プログラム】

開会の挨拶	九州大学 総長 有川 節夫
挨拶	文部科学省研究振興局基礎研究振興課基礎研究推進室 室長 上田 光幸 WPIプログラムディレクター／ 日本学術振興会学術システム研究センター 副所長 黒木 登志夫
オープニングレクチャー	九州大学 I ² CNER 所長 Petros Sofronis
セッション 1	エネルギーアナリシス部門
セッション 2	水素製造部門 水素貯蔵材料部門 燃料電池部門
セッション 3	熱物性部門 物質変換部門 水素構造材料部門
セッション 4	CO ₂ 分離・濃縮部門 CO ₂ 貯留部門
講評	WPI プログラムオフィサー/東京大学工学系研究科 教授 笠木 伸英
閉会の挨拶	九州大学 I ² CNER 所長 Petros Sofronis

2. I²CNER International Workshop 2012 及び HYDROGENIUS & I²CNER Research Symposium

日 時：2012年2月2日（木） ※入場無料

会 場：九州大学伊都キャンパス

対 象：研究者・学生・一般

定 員：9つのワークショップ各50～80名（先着）/施設見学100名（先着）

言 語：英語

(1) I²CNER International Workshop 2012

- CO₂貯留部門（最先端有機光エレクトロニクス研究センターセミナー室）9：30～18：00
- 水素貯蔵材料部門（総合学習プラザ108）9：50～12：00
- CO₂分離・濃縮部門（総合学習プラザ108）13：00～15：00
- 物質変換部門（総合学習プラザ108）13：00～15：00

(2) HYDROGENIUS & I²CNER Joint Research Symposium

- 水素材料強度特性研究チーム（稲盛財団記念館稲盛ホール）9：40～17：00
- 水素物性研究チーム（CE40棟2階多目的ルーム）9：50～17：30
- 水素高分子材料研究チーム（稲盛財団記念館稲盛ホール）10：00～16：35
- 九州大学燃料電池・水素製造研究シンポジウム（ウエスト4号館9階）10：00～17：20
- 水素トライボロジー研究チーム（稲盛財団記念館2階セミナー室）12：00～17：40

(3) 合同ポスターセッション・施設見学

- 合同ポスターセッション（稲盛財団記念館1階 他）11：30～13：30
- 九州大学研究施設見学（水素材料先端科学研究センター、関連施設）10：00～12：00
- HyTReC 施設見学（水素エネルギー製品研究試験センター）14：30～15：30

【お問い合わせ】

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I²CNER:アイスナー）

支援部門長 角田 英之

電話：092-802-6930 Mail：wpisiencho@jimu.kyushu-u.ac.jp

H P：http://i2cner-annual2012.org/

